

東京都地域公益活動推進協議会

TOKYO

NEWS

No.7

平成30年10月11日発行
会員数294 法人1028 事業所

★★★★主な内容★★★★

- 推進協の今後3か年の推進方針の検討始まる！…………… 1
- 実践発表会（前期）を開催しました…………… 2
- 広報研修、大好評！…………… 4
- 地域ネットワークへの助成が決定しました…………… 5
- はたらくサポートとうきょう参加事業所連絡会を開催します…………… 5
- 広報連携事業推進委員会では以下の取組も進めています…………… 5
- 推進協のホームページをぜひ活用してください…………… 6
- 東京都地域公益活動推進協議会 今後3か年の推進方針（案）…………… 7

【運営委員会・幹事会】

➤ 推進協の今後3か年の推進方針の検討始まる！

推進協の設立意義をあらためて考える

東京都地域公益活動推進協議会は、平成28年9月に設立され、3年目を迎えました。

社会福祉法人に対して、内部留保金やイコールフットィング論などが取り沙汰される中で、課税に関する議論が持ち上がったことは昔のことではありません。主に高齢分野の話だろうと思われがちですが、「社会福祉法人」という大きなくりの中で、決して高齢分野だけで収まる問題ではありませんでした。

そのような背景のもと、東京都地域公益活動推進協議会（以下、「推進協」）は、社会福祉法人が一致団結して、社会福祉法人の公益的な取組みの見える化、情報発信を行い、社会福祉法人の存在意義をアピールしていくことを目的に立ち上がった組織です。

社会福祉法人への課税問題については、社会福祉法が改正され、ガバナンスの整備への対応等とともに、「地域における公益的な取組」が責務化されて、いったん収束したように見えますが、いつ再燃するかわかりません。

また、社会福祉法人に対して、地域共生社会づくりへの貢献の期待が高まる一方で、社会福祉分野の人材確保は深刻さを増しています。

オール東京オール社会福祉法人の体制づくりを目指して

そこで、今回、あらためて推進協として、オール東京オール社会福祉法人の体制づくりを目指していくため、組織と活動の見直しを図ることについて、幹事会・運営委員会で検討し、その後、各種別部会へ説明、ご意見をいただいた上で、推進協で検討し最終的に決定する予定です。

検討資料は、ニュースの7ページ以降をご覧ください。

ご意見等ございましたら、事務局あるいは各種別部会の推進協幹事にお寄せください！



▶実践発表会（前期）を開催しました！

昨年度9月に初めて地域公益活動の実践報告会を開催したところ、社会福祉法人の熱意ある取組みに触れ、多くの方から好評を得ました。そこで、今年度は、前期と後期の2回実施することにしました。前期は、より身近な取組みに感じていただくため、分野別に開催し、昨年度発表いただいた法人・事業所からより詳しくかつその後の展開も踏まえ発表いただくとともに、新たに各分野2法人・事業所からも発表いただきました。会場は、いずれも飯田橋ベルサールファースト ROOM で、当日は参加者でいっぱいになりました。

【高齢分野】 平成30年9月11日（火）参加者数：89名

社会福祉法人一誠会 偕楽園ホーム

テーマ：地包括ケアシステムを深化につなげる地域公益活動

社会福祉法人青芳会

テーマ：障がい者への就労支援

社会福祉法人聖ヨハネ会

テーマ：様々な福祉ニーズを抱える方への「フィッティングサポート」～人としての尊厳を守る～

社会福祉法人東京聖労院 桐ヶ丘やまぶき荘

テーマ：3つの社会福祉法人の連携による地域公益活動～桐ヶ丘サロンあかしの事業運営～

社会福祉法人芳洋会 ひのでホーム

テーマ：はたらくサポート受入れから継続的支援のステップ

【児童分野】 平成30年9月14日（金） 63名

社会福祉法人至誠学舎立川 至誠大地の家・社会福祉法人エス・オー・エスこどもの村

テーマ：多摩ユースサロン～法人間連携によるアフターケア活動～

社会福祉法人誠美福祉会 誠美保育園

テーマ：居場所の数だけ

社会福祉法人大洋社 大田区立ひまわり苑☆

テーマ：「JOY」れいんぼう～若者の自立支援・生きるための力をつけるための取組み

社会福祉法人さくら福祉会 さくら保育園☆

テーマ：フードドライブ活動

社会福祉法人多摩同胞会 白鳥寮

テーマ：地域における役割とコミュニティソーシャルワーク

学習サポートサロン Shiratori Kids Yard～見つける・支える・つなげる

【障害・医療等分野】 平成30年9月25日（火） 74名

社会福祉法人慈生会 ベトレハムの園病院☆

テーマ：ゆるりと相手の存在を大切に思う取組み～継続は力なり！ワークサポート事業

社会福祉法人武蔵野会 リアン文京☆

テーマ：チームリアンの地域貢献 自分を愛するようにあなたの隣人を愛せよ

社会福祉法人武蔵野会 小平福祉園

テーマ：近隣中学校との繋がりと地域活動 自分を愛するようにあなたの隣人を愛せよ

社会福祉法人村山苑

テーマ：「認定就労訓練」及び「はたらくサポート」の実施状況

社会福祉法人村山苑 むらやまえん生活相談所

テーマ：むらやまえん生活相談所 解説から今日まで（事例から見える活動状況）

社会福祉法人かいゆう

テーマ：誰もが集える みんなの居場所

社会福祉法人徳心会

テーマ：地域公益活動の取組み～地域の一員として施設ができること～

☆は、当該法人が参加する区市町村のネットワークの取組みについて触れました。

※発表法人の取組み概要は、随時、ホームページにも掲載する予定です（一部法人除く）。



発表後には小林先生から激励のコメント



全体会終了後に発表者と交流



発表者からは、発表してよかったとの感想



会場からの質問に発表者は本音で回答

小林良二氏（都立大学名誉教授）をコメンテーターに迎え、様々な取組みの講評をいただきました。小林氏からは、『3日間、とてもワクワクしながら発表を聞かせていただいた。施設を拠点として活動するところもあれば、施設から地域に出て、地域に拠点を構えて活動するということもある。関係機関に声かけして活動するところもあれば、地域住民や学生などと一緒に取り組み、地域に根づく活動に拡げているところもある。様々な形態があるが、ある程度パターン化できそうだ。何より、発表者から発表してよかった、という声が聞けたことはよかった。発表することによって、これまでの活動を振り返ることができる。ぜひ、皆さんもチャレンジしてほしい』とのコメントをいただきました。

発表者からは、「発表するにあたり、自分たちのこれまでの活動を振り返り整理することができた」「他の法人の取組も聞けてとても刺激を受けた。これからもがんばりたい」といった声をいただきました。

参加者からは、「全く知らない活動を知ることができた」「多様な地域の捉え方を学ぶことができた」「法人として横のつながりの大切さを実感した」「視野が広がった」「ここまでできるのかと驚いた」などの声が寄せられました。

後期は、来年2月14日に開催します。後期の発表会は、マスコミや学校にも周知します。

ぜひ、法人の取組のPRの機会、振り返りの機会としてご活用ください。ご応募お待ちしております。



日時	平成31年2月14日(木) 13:30~17:00 ※発表者は上記より早めの集合となります。
会場	ステーションコンファレンス東京 サビアホール 千代田区丸の内 1-7-12 サビアタワー5 階(JR 東京駅日本橋口直結 東京メトロ東西線大手町駅B7 出口直結)
募集対象	東京都地域公益活動推進協議会に参加している法人・事業所 10か所
申込方法	申込書に必要事項を記入の上、 <u>10月18日(木)迄</u> に、FAXでお申し込み下さい。 ※実践発表の可否については、 <u>10月26日(金)まで</u> にご連絡いたします。
発表内容	(1) 10分程度で、法人・事業所(複数法人連携含む)の取組み(取組みのきっかけ、内容、実施プロセス、成果等)について発表いただきます。 (2) 発表資料は、パワーポイントでご準備ください。 (3) 発表者は法人のPRパンフレット等を当日配布可能です。希望者は事務局まで送付ください。 (4) 上記資料の提出締切は、 <u>11月30日(金)必着</u> となります。

※当日の参加申込みについては、あらためてご案内します。

「社会福祉法人の取組みを地域に伝える～広報の基本を学ぼう～」 ▶ 広報研修会 大好評！

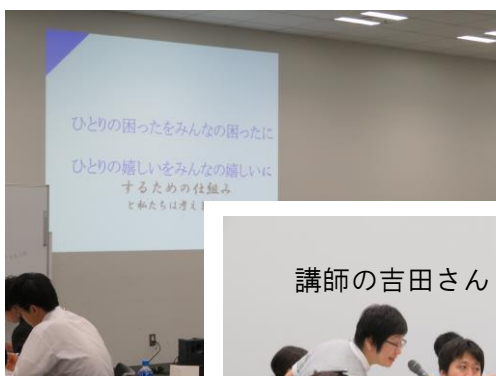
8月30日、「社会福祉法人の取組みを地域に伝える～広報の基本を学ぼう～」と題して、研修を開催しました。

講師は、特定非営利活動法人市民活動情報センター ハンズオン！ 埼玉の副代表理事・広報プランナーの吉田知津子さん。吉田さんは、大手広告代理店に勤務し、企業の広告戦略の企画立案、制作実施した経験を活かし、様々なNPOや行政の広告・広報活動及び企業の社会貢献活動の企画に取り組んでいます。

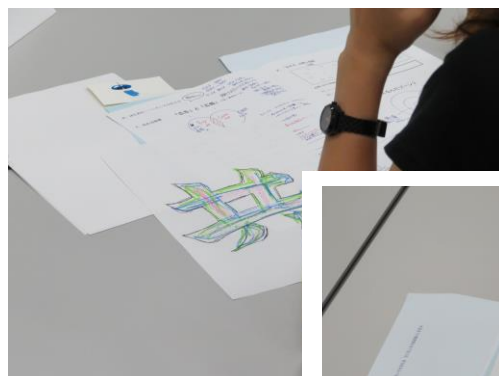
まず、「情報とは、情に報いると書くのよね。」とあらためて目からウロコの話から始まり、講義はできるだけ日常を大切にして、と突如エプロン姿に。参加者は、講師の話や映像に吸い込まれるようにして、3時間を過ごしていました。以下、参加者の感想から講義内容をご想像ください。

- “ひとりの困ったをみんなの困った”、“ひとりの嬉しいをみんなの嬉しい” にしていく仕組みという言葉が印象的でした。
- 「どこに向けて発信しているのか」について、今後は常に意識したいと思います。
- 広報とは、こちらの情報を伝える手段と軽く考えていたが、広報には想いを伝え、人と人を繋げる、そんな力があると教えていただきました。社協が目指す地域福祉の精神に直結する強い思いを感じました。
- “広報誌”を作るためにどうしたらよいかということだけでなく、地域づくりに必要な心意気を学べ、とても勉強になり楽しかったです。
- 自分一人で仕事をすることに不安があったので、わからないことを伝える、聞く、いろいろな人とつくり上げていく、ということが大切なんだと発見でした。
- こちらからの発信だけでなく、双方向のものだと気付きました。
- 人に伝えることの難しさ。でも「心」が動く伝わっていくのだと思いました。空気を温めていきたいと思います。
- 文字や言葉は説得するために使うのではなく、だれかと一緒につくりたいという気持ちを表現すること。“共創”を心に留めて地域の方々とかかわっていきたいと思いました。
- 企業は競争だけど、皆さんの世界は「競争」ではなく「共創」でしょ。公益だからできる広報がある。強く心に残りました。
- 「共創」本当にいい言葉だと思いました。
- 聞く人、見る人の身になって！伝えたい気持ちを大切に。

今回の研修は、定員を超える参加希望をいただき、10月25日に2回目の研修を実施することになりました（すでに申込み締切）。



講師の吉田さん



研修の締めでは、
心に残った一文字
を書いてください



こんなに素敵な色づかいをして文字を書く人たちは初めて！と吉田さんも驚いていました（帰り際の一言）

【地域ネットワーク推進委員会】

▶ 地域ネットワークへの助成が決定しました！ 追加募集中（〆切は11月1日）

現在、区市町村のネットワークで動きがある地域は、50地区。うち38区市町で、ネットワークが設立されています。推進協では、昨年度に引き続き、事務費5万円、事業費30万円を上限に、区市町村ネットワークへの助成に向けて募集を行い、7月の地域ネットワーク推進委員会で、以下のとおり助成地区を決定しました。

【事務費】

中央区、港区、文京区、中野区、豊島区、板橋区、練馬区、立川市、調布市、小金井市、小平市、日野市、東村山市、国分寺市、狛江市、東大和市、清瀬市、東久留米市、多摩市、稲城市、西東京市、瑞穂町（以上、22地区）

【事業費】

千代田区、中央区、港区、文京区、中野区、豊島区、板橋区、立川市、日野市、狛江市、東大和市、清瀬市、多摩市、西東京市、瑞穂町（以上、15地区）

なお、現在、追加で募集をしています。助成をご希望の区市町村ネットワークにおかれましては、ネットワーク事務局を通じて、11月1日までにご応募ください。

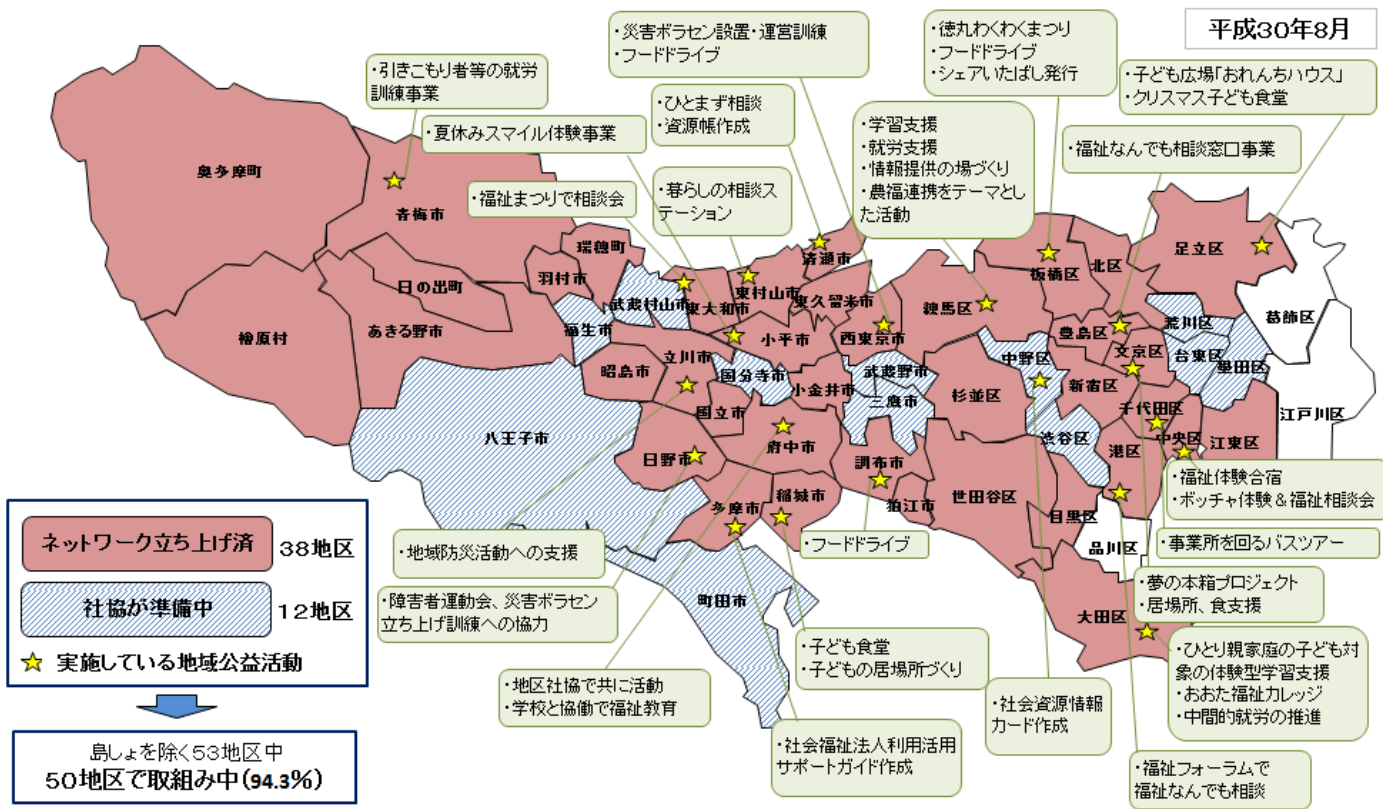
*****予告*****

11月28日（水）午後「区市町村ネットワーク関係者連絡会」を開催します。

今後、区市町村社協を通じて、お知らせします。区市町村ネットワークで活動されている関係者の皆様はぜひご参加ください。

地域公益活動推進のための地域ネットワーク化の状況と連携による地域公益活動

平成30年8月



【広域連携事業推進委員会】

➤ **はたらくサポートとうきょう参加事業所連絡会を開催します**

現在、はたらくサポートとうきょうに登録している事業所は、97事業所。これまでに19事業所で延べ37名の就労希望者を受け入れています。今年度は、登録事業所や今後、登録を考えている事業の担当者が集まり、事例検討や情報交換を行う標記連絡会を2回ほど実施する予定です。

第1回目は、11月29日に開催が決定しました。当日は、既に就労希望者を受け入れている事業所から実践発表いただき事例検討を行います、また、9月に実施した登録事業所向けアンケートの結果をもとに、受入れに関する課題や工夫について情報交換をしたいと思えます。

皆様の法人アドレスにご案内のメールを送信しています。これから、登録を検討している事業所も含め、ぜひ、ふるってご参加ください。

“はたらくたいけれど、はたらくにくい人”の就労を一緒に考えてみませんか??
～中間的就労の現状と課題～

日 時 平成30年11月29日(木) 10時～12時30分
会 場 飯田橋レインボービル2階2A会議室 ※会場案内参照
対象者 はたらくサポートとうきょう就労支援担当者&はたらくサポートとうきょうに参加を検討している事業所の方
内 容 【講師】文京学院大学 准教授 中島 修氏
(1) 事例検討 発表：社会福祉法人芳洋会 特別養護老人ホームひのでホーム
(2) 情報交換

➤ **広域連携事業推進委員会では以下の取組も進めています**

委員会では、社会福祉法人や区市町村ネットワークで考えられる取組みとして、“すまいの支援”について情報収集中です。また、今年度、子ども食堂やフードバンク、相談事業など、中間的就労以外の取組みについて、「**テーマ別情報交換会**」を開催する予定です。

➤ **推進協のホームページをぜひ活用してください。**

推進協では、加入法人に、下記の**バナー**を配布しています。ぜひ、貴法人のホームページにバナーを貼り付けて、推進協の加入法人であることをアピールしてください。

また、推進協では、ホームページの**トップ画面のアニメーション**に掲載する写真を随時募集しています。法人の取組みの様子がわかり使用してよい画像がありましたら、お寄せください。

〔アニメーションバージョンバナー〕 〔静止画バージョンバナー〕



地域で輝く社会福祉法人を目指して

地域共生社会の実現に向けてすべての地域住民とともに地域課題に取り組みます。



東京都における社会福祉法人の連携による地域公益活動を一層推進し、社会福祉法人の存在意義を発信していくため、より多くの法人の参加をお願いします。詳細はホームページをご参照ください。

〔事務局〕 社会福祉法人東京都社会福祉協議会 福祉部経営支援担当

〒162-8953 東京都新宿区神楽河岸1-1 TEL03(3268)7192 Fax03(3268)0635

Email:koueki@tcsw.tvac.or.jp https://www.tcsw.tvac.or.jp/koueki/index.html

*上記のホームページで都内の社会福祉法人の地域公益活動に関する情報を発信しています



※各種別部会において、以下の資料（第3回幹事会資料）で説明をさせていただきます。ぜひご意見をお寄せください。

東京都地域公益活動推進協議会 今後3か年の推進方針（案）

第3回幹事会



東京都地域公益活動推進協議会は、平成28年9月に発足し、3年目を迎えました。

設立の背景には、社会福祉法人をとりまく危機的な状況がありました。

社会福祉法の改正でいったんは収束したように見えますが、いつ再燃するかわかりません。

また、地域共生社会づくりへの貢献が求められる一方で、社会福祉分野の人材確保は深刻さを増しています。

参加法人数や事業実施状況を踏まえ、3年後を目途に、推進協会費の見直しが予定されていました。

会費の負担感が大きい、という意見を寄せる法人がありました。

区市町村ネットワークについては、設立や事業の立上げが、まだ充分に進んでいません。

そのため、区市町村ネットワークの助成金の申請が少なく、繰越金の発生にもつながっています。

すべての社会福祉法人の推進協参加を目指していましたが、3割程度にとどまっています。

オール東京の社会福祉法人で地域公益活動を推進するため、推進協に多くの法人が加入し、区市町村ネットワークへ参加することが望まれます。

➡️ そこで、今後の推進協の方向性を定めるとともに、必要な経費を算定、会費を見直し、推進協の組織と活動の充実強化を図ります。

“地域で輝く社会福祉法人”を目指して

社会福祉法人がその使命と役割を発揮し、
連携・協働して、地域の課題に対応することにより、

“地域で輝く社会福祉法人”となることを目指します。

そして、有望な人材を惹きつけ、やりがいをもって育てることにより、

将来にわたって、

安定的に質の高い福祉サービスや事業を提供し続け、

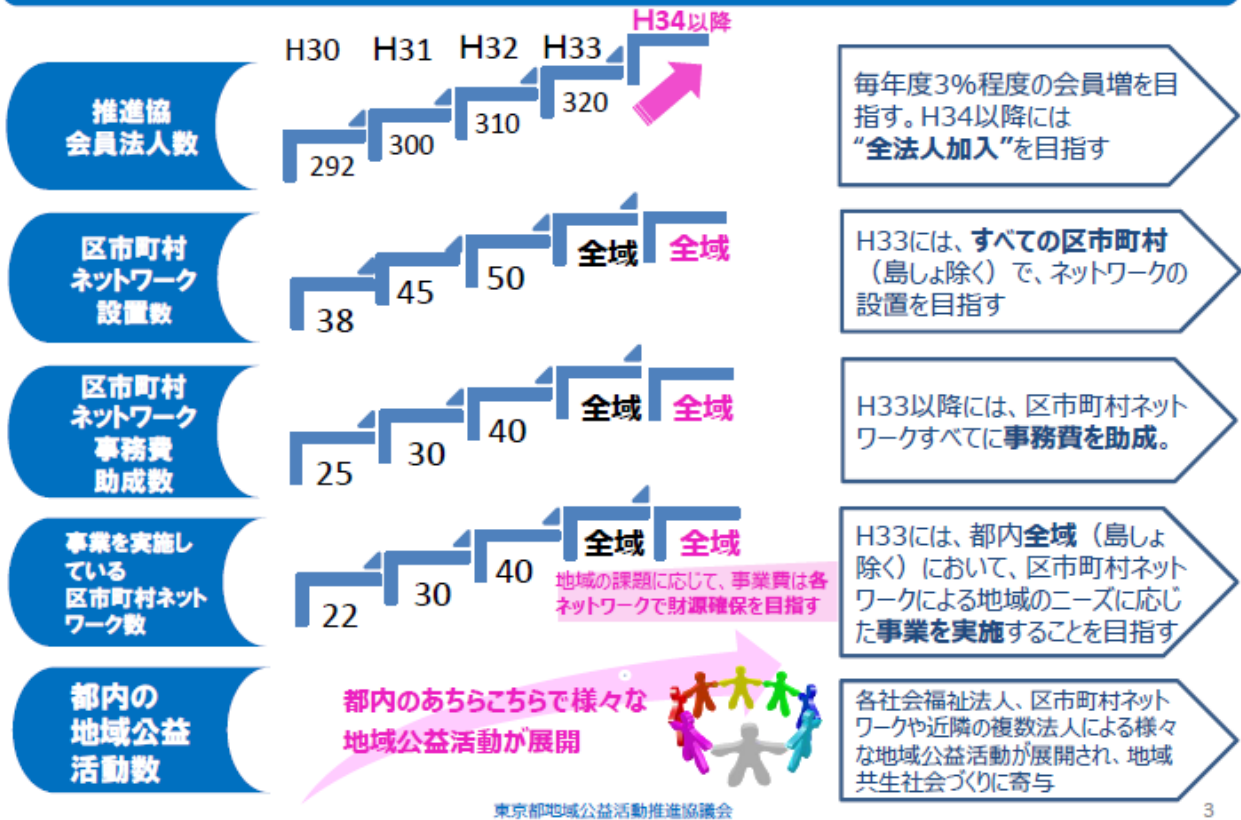
今以上に地域社会から必要とされ、

共に生き、共に創る存在となるために、

“すべての社会福祉法人”による地域公益活動を推進します

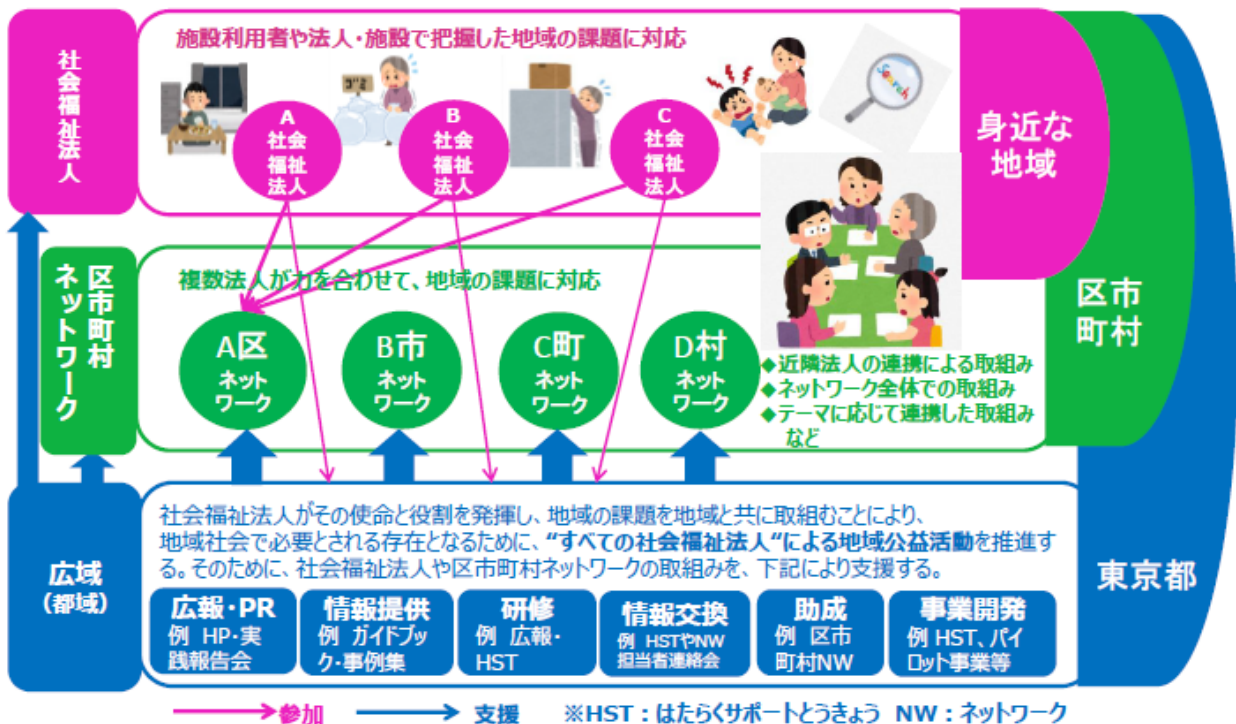
東京都地域公益活動推進協議会

今後の3か年ビジョン(案)



3

東京都内における地域公益活動推進体制(案) 3つの層の役割と活動



東京都地域公益活動推進協議会

4

推進協の事業ビジョン(案)

重点1	重点2	重点3
3つの層の取組の 情報発信・見える化	区市町村ネットワークの 取組推進	人材確保・育成・定着に つなげる
広域NWとしての役割と事業展開 <ul style="list-style-type: none"> ◆社会福祉法人や区市町村ネットワークの支援を中心に据える。 ◆先行事例等のノウハウを社会福祉法人・区市町村ネットワークに情報提供。 ◆社会福祉法人や区市町村ネットワークが取組む事業について、パイロット事業やプロジェクト方式により事業開発、しくみづくりなどを進める。 		
ホームページの充実・SNSの活用 	区市町村ネットワークへの助成等 <ul style="list-style-type: none"> ◆事務費の全地区助成 ◆先駆的開拓の事業に事業費助成 ◆ネットワーク立上げ・推進支援 	事業開発・しくみづくり 例 はたらくサポートとうきょう、パイロット事業の実施 等
実践発表会の充実・表彰の実施 	事例集やガイドブックの発行  社会福祉法人や区市町村ネットワークによる取組みをテーマごとに発信！	テーマ別情報交換会の開催  中間的就労、子ども食堂、フードドライブ、相談事業など、各法人やネットワークの取組について情報交換
マスコミ・学校への周知	研修会やセミナーの開催 広報・中間的就労など、必要なテーマごとの研修会や担当者連絡会、セミナー等を開催	東京都福祉人材センター事業等とのコラボ 例 就職フォーラム等での資料配布、区市町村ネットワークでの面接会の実施 等

推進協の会費(案)～H33

【案】活動会費を55～60%に減額(基礎会費はそのまま)

No.	区分	現状		案	
		基礎会費	活動会費	基礎会費	活動会費
1	2億未満		0		0
2	2~4億未満		10,000		6,000
3	4~6億未満	事業所毎	30,000	事業所毎	17,000
4	6~8億未満	6,000円	60,000	6,000円	33,000
5	8~10億未満		100,000		55,000
6	10~20億未満		160,000		90,000
7	20億以上		250,000		140,000

	H30	H31	H32	H33	H34
会費収入	17,586,000	18,113,580	18,656,987	19,216,697	
事業支出	18,324,000	18,724,000	18,924,000	19,124,000	
人件費	7,024,000	7,024,000	7,024,000	7,024,000	
事業費	3,500,000	3,500,000	3,700,000	3,900,000	
事務費	300,000	300,000	300,000	300,000	
助成金事務費	1,500,000	2,500,000	2,500,000	2,500,000	
助成金事業費	6,000,000	5,400,000	5,400,000	5,400,000	
収支差額	-738,000	-610,420	-267,013	92,697	

※経過期間中の不足額は、繰越金(1400万円程度)から充当する。

【参考案】活動会費を半額に(基礎会費はそのまま)

No.	区分	現状		参考案	
		基礎	活動会費	基礎会費	活動会費
1	2億未満		0		0
2	2~4億未満		10,000		5,000
3	4~6億未満	事業所毎	30,000	事業所毎	15,000
4	6~8億未満	6,000円	60,000	6,000円	30,000
5	8~10億未満		100,000		50,000
6	10~20億未満		160,000		80,000
7	20億以上		250,000		125,000

	H30	H31	H32	H33	H34
会費収入	16,310,000	16,799,300	17,303,279	17,822,377	
事業支出	18,324,000	18,324,000	18,524,000	18,724,000	
人件費	7,024,000	7,024,000	7,024,000	7,024,000	
事業費	3,500,000	3,500,000	3,700,000	3,900,000	
事務費	300,000	300,000	300,000	300,000	
助成金事務費	1,500,000	2,500,000	2,500,000	2,500,000	
助成金事業費	6,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	
収支差額	-2,014,000	475,300	779,279	1,098,377	

※経過期間中の不足額は、繰越金(1400万円程度)から充当する。

【会費案について】

- H30年度(現会員数)を基本に、ビジョン(会員3%増)に合わせ、会費額は3%程度増を想定。
- 推進協事業費についても、毎年度会員増に合わせ、微増で算定。
- 区市町村ネットワークの事務費助成については、全地区想定金額(250万円)を設定
- 【案】と【参考案】との違い～助成金事業費について、平成34年度に向けて【案】は年18地区の助成額を確保。【参考案】は半分程度(10地区)となるため、今後の取組みの拡大強化が期待できない。

会費案について

「今後の3か年ビジョン」「推進協の事業ビジョン」を踏まえて活動していくために、以下の方向性により、会費額を改訂する。

- 会費（案）については、活動会費を約55～60%に減額し、年度の収支のバランスを図る。
- 平成31～33年度は、区市町村ネットワークへの事業費助成は年18地区程度と想定。
H34年度以降は、**区市町村ネットワーク**で取り組む**事業にかかる経費は各ネットワークでの確保**を目指し、事業費助成金については、新規事業や先駆的開拓的事業を中心に絞り込み助成する方向とする。
※参考案（活動会費半額）の場合は、平成31年度より区市町村ネットワークへの事業費助成が半分程度の規模となるため、今後の取組みの拡大強化が期待できない。
- 繰越金については、社会福祉法人や区市町村ネットワークで取り組む3年間のプログラム開発のプロジェクトや収支差額の一次的不足分などに限定的に充てる、等検討する。

【今後の検討課題】平成34年度以降に向けて

住民とともに地域の課題に取り組む、
将来にわたり、地域社会から必要とされ共に生きる存在となるために

- ◆推進協は広域の観点から、“すべての社会福祉法人”や“区市町村ネットワーク”がその取組みを推進できるよう支援していくことが重要となる。
- ◆今後3年間で、取組みをさらに進めつつ、以下について検討を行う。
 - ①区市町村ネットワークと推進協の連携の強化
 - ②推進協の組織について…全加入の方向性
 - ③会員会費について……法人単位あるいは事業所単位
加入状況等に応じた会費の見直し
 - ④事業の継続性の担保…一定の繰越金は保有し、事業の継続性を図る

東京都地域公益活動推進協議会

7

平成30年度東京都地域公益活動推進協議会 事業執行状況

広報・情報発信委員会	地域ネットワーク推進委員会	広域連携事業推進委員会
<p>【研修】 テーマ：「社会福祉法人の取組みを地域に伝える～広報の基本を学ぼう～」 講師：吉田 知津子氏 (NPO市民活動情報センターハンズオン！埼玉副代表理事) 日時：第1回 8月30日13:30～ 参加者数 70名 会場：ベルサール飯田橋ファースト地下Room ※申込み多数により、第2回目を10月25日開催予定（既に定員オーバー）</p>	<p>【ネットワーク助成】 事務費5万円、事業費30万円 《1次募集》 【事務費】22地区 【事業費】15地区 《2次募集》 11月1日締切、11月中に決定</p> <p>【地域ネットワーク関係者連絡会】 日時：11月28日午後 会場：セントラルプラザ11階（予定） 内容：ネットワークの取組・情報交換</p>	<p>【はたらくサポートとうきょう】 登録事業所数：97か所 受入れ人数：19事業所（延べ37名） 《事業所連絡会》 第1回 日時：11月開催予定 会場：未定 内容：事例検討・情報交換 ※開催にあわせて、現状と課題に関するアンケート実施 第2回 1～2月に開催予定 《登録事業所に関するデータ提供》 時期：奇数月の10日前後 送信先：生活困窮者自立支援相談機関と福祉事務所（H30より拡大、区部市部課長会で説明）</p>
<p>【ホームページ】 更新、随時、法人の取組事例、受付中！ 【事例集の発行】 中間的就労に関する事例集+ガイドブック（更新ver.）</p>	<p>【実践報告会】 《前期》分野別 すべて14:00～ 高齢：9月11日 【コメンテーター】 児童：9月14日 小林良二氏 障害・医療等：9月25日 会場：ベルサール飯田橋ファースト地下Room 各80名 《後期》 日時：平成31年2月14日13:30～ 会場：ステーションコンファレンス東京 参加：250名</p>	<p>【テーマ別情報交換会】 日時：12月～2月頃（予定） 内容：子ども食堂、フードバンク、相談事業など様々な取組みの発表と情報交換</p>
<p>【新たな取組みの検討】 居住支援法人に関する情報収集中</p>		
<p>運営委員会：第1回 6月19日 第2回 11月予定 第3回1月予定 幹事会：第1回 4月16日 第2回 5月21日 第3回 9月5日 第4回 11月予定 第5回1月予定</p>		



後期実践発表会
発表者
募集中！